

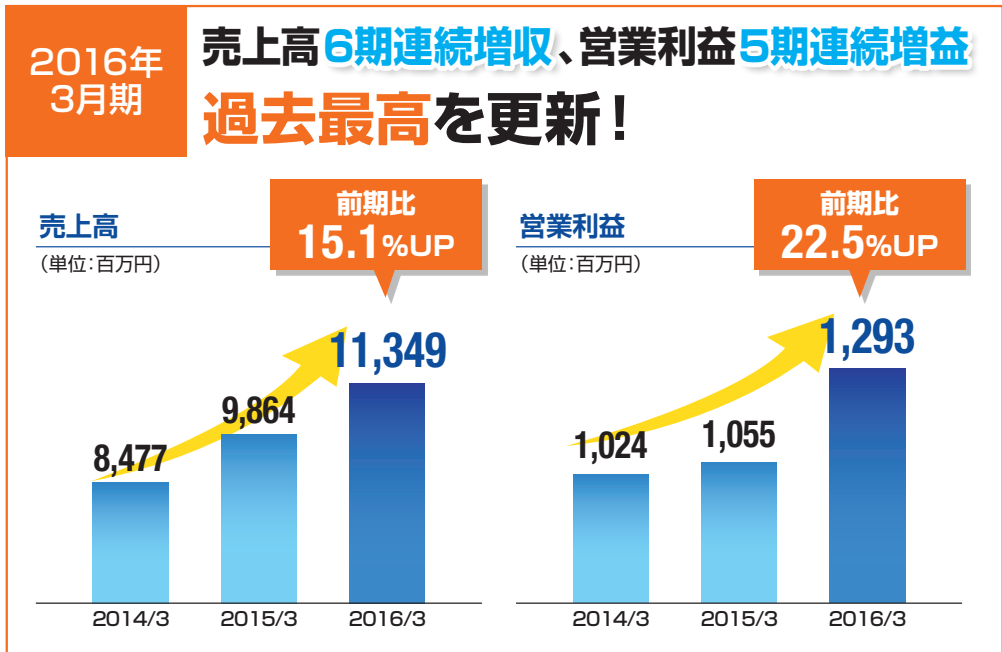
Business Report

第32期 | 株主通信

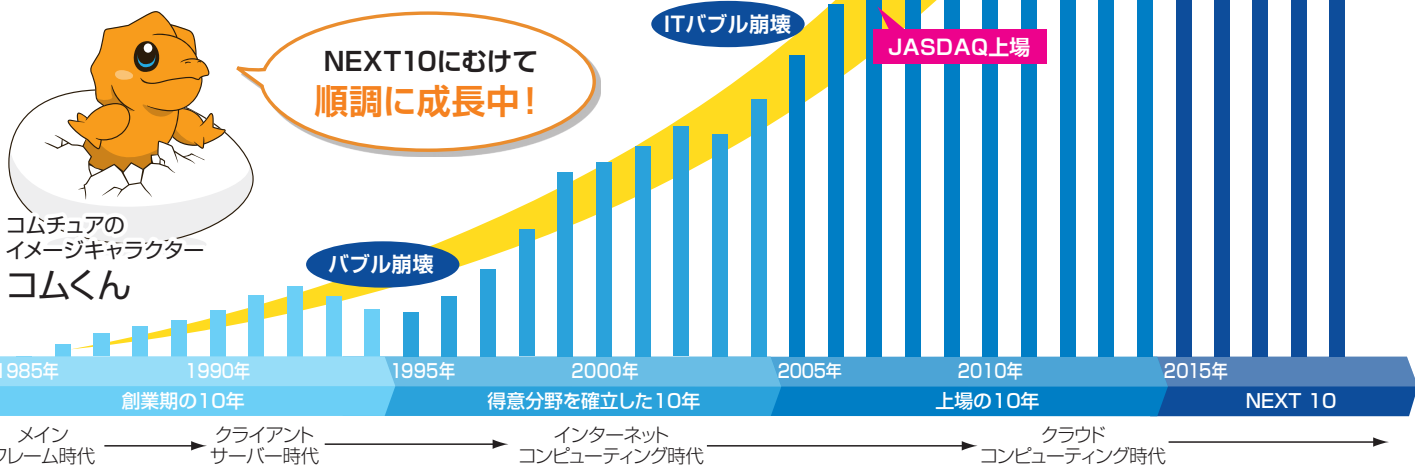
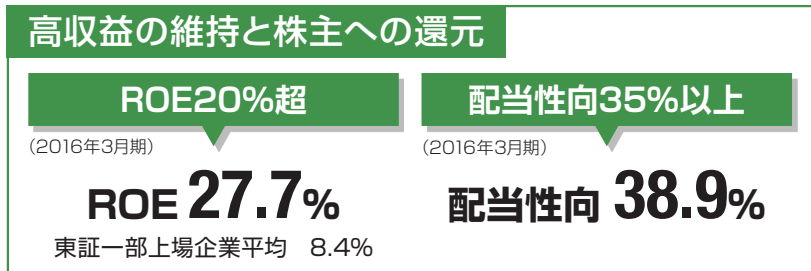
2015年4月1日▶2016年3月31日

コムチュア 株式会社
COMTURE CORPORATION

証券コード 3844



「NEXT10」
7つの戦略で
1,000億円企業を
目指します!!



**売上高6期連続、営業利益5期連続
過去最高を更新しました。**

コムチュアグループはクラウドを核として4つの分野での事業（グループウェアソリューション、ERPソリューション、Webソリューション、およびネットワークサービス）を推進し、高付加価値化の追求、生産性の向上と高品質への取組みを継続的に行ってきました。以上の結果、2016年3月期では、売上高が113.5億円（前期比15.1%増）、営業利益は12.9億円（同22.5%増）となりました。

主に、クラウド事業の拡大、金融分野でのビジネス拡大、ビッグデータなどの新技術への取組み、マイナンバーなどの新たな事業の拡大等により、売上高は6期連続の増加となりました。営業利益は、継続的な高付加価値化戦略による一人当たり売上高の増大による増益、事業拡大による増益等により、5期連続で増加し、過去最高益となりました。

**ビッグデータ・AI時代の到来による、
新たな価値創造に向けて**



代表取締役会長 CEO
向 浩一



代表取締役社長 COO
大野 健

**人工知能(AI)によって
何が変わるのか？**

今、ITの世界では、急速な技術の進歩により、毎分・毎秒発生する膨大なデータを蓄積できるようになりました。コンピュータ上のデータからインターネットに接続された機器から得られるデータまで、データの種類も量も増大を続けています。

このデータを分析し、活用する技術も人工知能(AI)の進化により、深層学習(ディープラーニング)等が実用化の段階に入ってきています。

このIT技術の進化は、あらゆるものがデータでつながる「データ駆動型社会(経済産業省)」をもたらす、世界的な流れになってきている「第4次産業革命」として、企業に業務のプロセスの変革をもたらす、新たな価値の創造によるビジネスの創出につながると考えられています。

コムチュアグループは、この新たな産業社会の到来を見据え、ITの先端技術へのチャレンジを企業の新たな「価値創造」につなげるべく取り組んでいきます。

**コムチュアの
これまでの成長の歩み**

1985年の設立以来、創業期の10年、得意分野を確立した10年、上場の10年と、これまでの歩みを振り返ると10年ごとに常に時代のニーズに対応しながら、「絶え間ないイノベーション」の連続により成長してきました。世の中の経済変動の節目やコンピュータ技術の大きな変わりどころにおいて、新しい技術にチャレンジし、お客様の「ささやき(ご要望)をカタチ(解決策)に」することによって、ビジネスの拡大につなげてきました。

これは社員一人一人が常に新しいことにチャレンジすることによって個人も成長し、会社も成長していくという「成長の原理」として社内に展開しています。

また、結果として生み出される高付加価値化による増収、増益は、それを実現した社員の処遇アップという形で還元することで、社員のモチベーションを高め、更なる成長につなげていっています。

**「NEXT10」
ービッグデータ、AIへの本格参入**

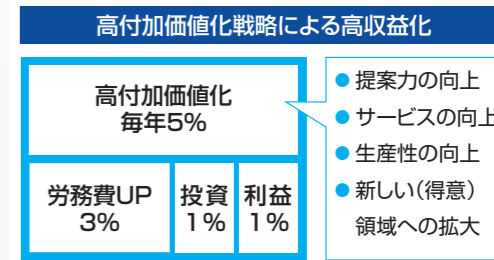
コムチュアグループは、ITの先進技術への取組みを既に開始いたしました。2016年4月に、ビッグデータを活用したクラウドによるアパレル企業向け販売管理システムを手掛けるジェイモードエンタープライズ(株)をグループに加えました。また、同じく4月に新たに、コムチュアデータサイエンス(株)を設立し、ビッグデータおよび人工知能(AI)の専門家として、大学や各企業との連携を行いながら、世の中に存在するあらゆるビッグデータを活用して、お客様のビジネス変革および意思決定のスピードアップにつなげるとともに、新しい事業を生み出していきます。企業に限らず、個人の皆様も対象にした領域についても、ジェイモードエンタープライズ(株)との連携により、ファッションAIなどの企画を進めます。このようにコムチュアグループは、来たる新たなIT社会に備え、お客様の期待に応えるべく、着々と準備を進めてまいります。

株主の皆様からのご質問にお答えします。

コムチュアは、クラウド、ビッグデータ、AIを成長軸とし、毎期2桁成長を成し遂げている高成長IT企業です！

Q 10%を超える高収益の秘訣はなんですか？

常に提案力・技術力・営業力の向上に努め、新しい領域にチャレンジすることで付加価値を毎年5%アップすることを継続しています。5%アップした付加価値は労務費に3%（従業員満足向上）、将来への投資に1%（会社成長）、利益として1%残すことにしています。これにより、個人及び会社として常に成長するという好循環を生み出しています。



Q 毎年増収増益(2割成長)の秘訣は？

当社は創業以来、絶え間なくイノベーションに対応してきました。バブル崩壊、ITバブル崩壊、リーマンショック時にも、その都度新しいことにチャレンジし技術革新を起こすことで対応してきております。常にユーザーの要求(=社会の要求)にイノベーションで答えることが、当社が毎年増収増益している秘訣です。これからもお客様の「ささやき」(要求)を大切に、新しい技術(イノベーション)で「カタチ」にするという当社の基本姿勢を貫き通し、**毎年の2割成長をしております。**



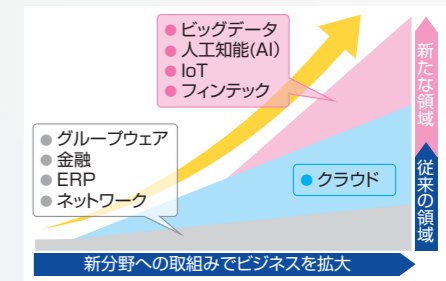
- 4大活動**
社員・チームが仕事を通して成長するために
- 標語発表会
 - 技術・業務功績発表会
 - 改善提案
 - 「ささやき」を「カタチ」に

Q 人材育成・人材補強はどのようにやっているのですか？

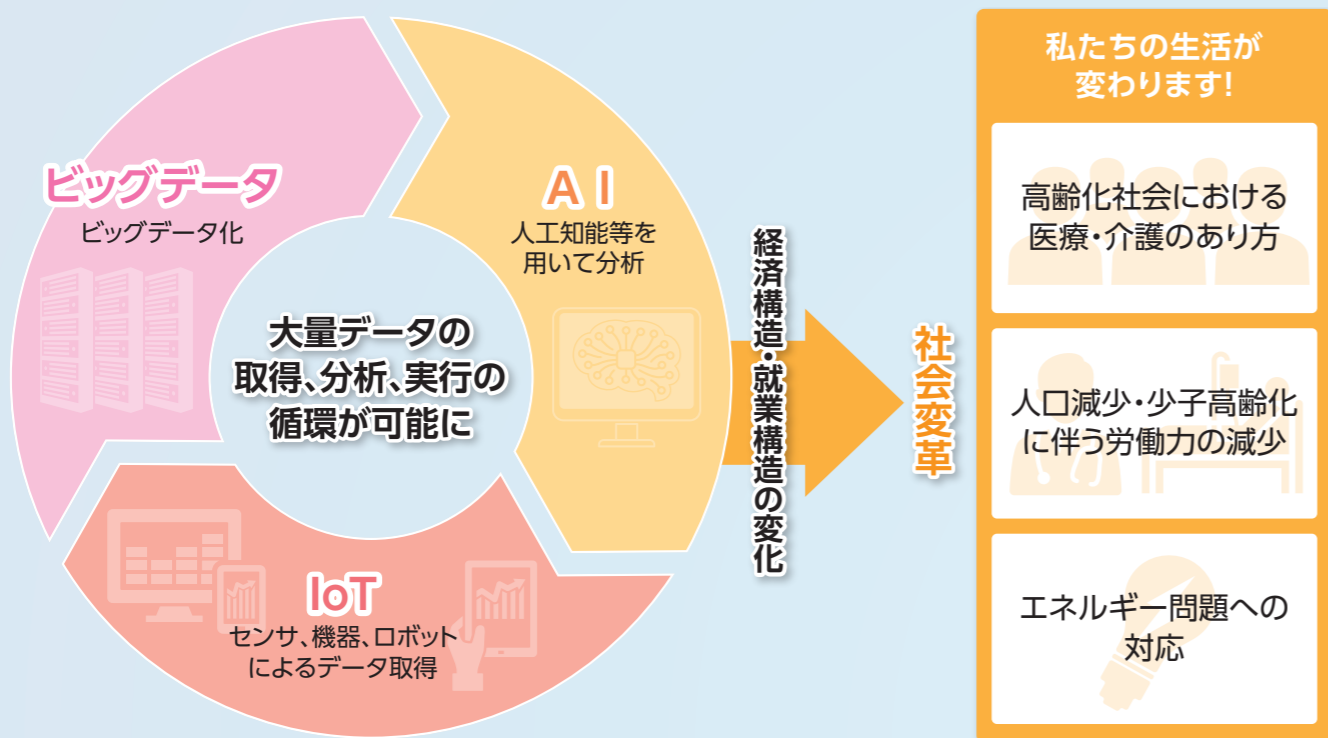
事業計画に則った戦略的な採用活動(新卒、中途)により優秀な人材を採用し、特に技術者には新しい技術に対応した資格取得を推奨する環境を整えています。中でも今後伸びる分野であるビッグデータ・人工知能(AI)にかかわる**技術習得は他社に先駆けて推進しております。**また、当社は「四大活動」を通じて人材の育成と仕事力を養い、「チーム」で成長することで「人づくり」、「組織づくり」、「仕組みづくり」に取り組む、**たゆまなく成長するための土台・インフラ構築をしております。**

Q これからどんな分野に進出する予定ですか？

今後は新たに**ビッグデータ、人工知能(AI)の分野に取り組んでまいります。**ビッグデータ関連ビジネス推進のため、本年4月にはジェイモードエンタープライズ(株)をグループ会社として迎え、コムチュアデータサイエンス(株)を新規設立しております。他にも、IoT、フィンテックへの展開にも取り組んでいき、**新たなIT産業の潮流に乗り、積極的に事業展開していく予定**であります。



ビッグデータ・AIで世の中はこう変わる！



私たちの生活が変わります！

- 高齢化社会における医療・介護のあり方
- 人口減少・少子高齢化に伴う労働力の減少
- エネルギー問題への対応

現代の社会は第4次産業革命（＝データ駆動型社会）

IoTやネットワーク化が急速に進み、得られた情報がデータとして蓄積されて、新しいモノやサービス作りに反映されます。モノに通信機能を持たせて、インターネット経由でモノとモノ、またはモノとヒトをつないで瞬時に好みのサービスが提供されていく世界がどんどん近づいてきています。

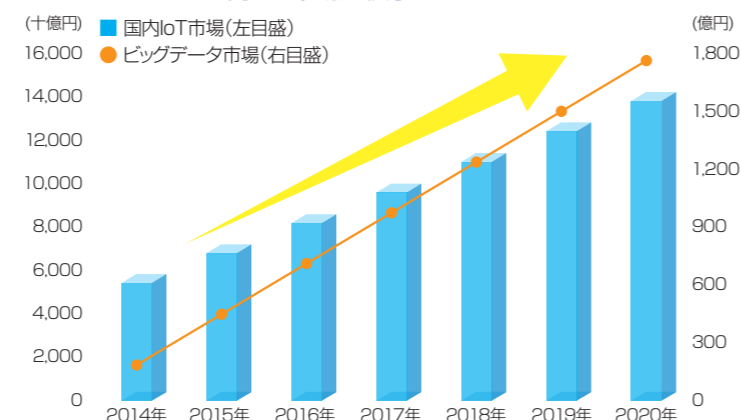
IoTは各分野に広がりを見せていきます。例えば、サプライチェーン（モノの原材料から消費者にわたるまでの全工程）では、在庫がゼロの状態の商品が効率よく流れていくでしょう。自動車の完全自動運転が出来るようになれば、渋滞や自動車事故の軽減が見込めます。この他にも教育や医療の分野でも、精度の高いデータを活用した取組みが増えています。

ビッグデータ・国内IoT市場

ビッグデータの分析に使われる情報システムなどのインフラの国内市場は2019年に1,469億円に上るとの見通しです。2014年時点から、年平均成長率27%のペースで拡大を続けていくことが見込まれています。（IDC Japan 2015年5月発表）

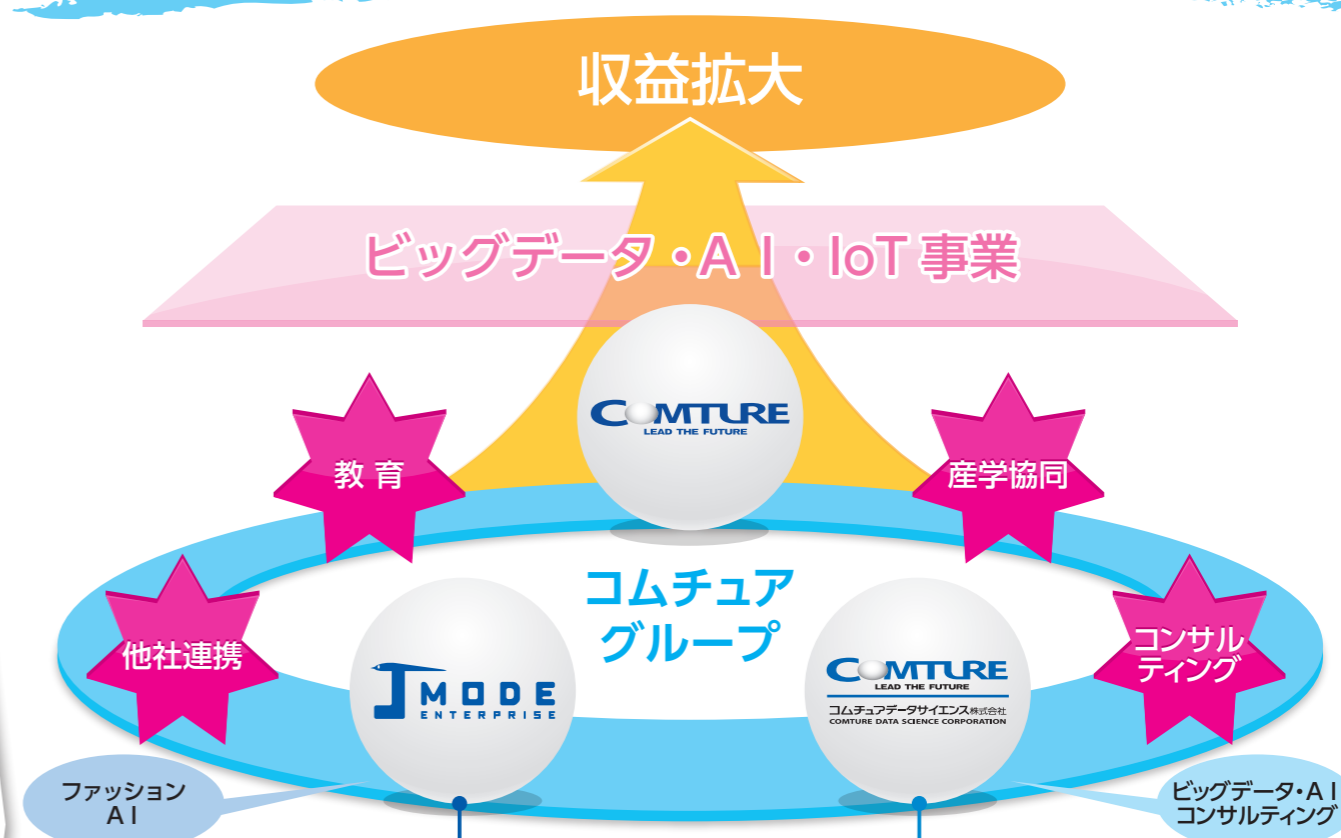
情報通信技術の発達により、日常の行動や言葉がデータ化され、それを瞬時に収集することが可能になりつつある現代。企業が成長していくためには、こういった人々の行動や言葉を「分析」し、「次の一手」に活用していくことが、ますます重要になっていきます。

■ ビッグデータ・国内IoT市場規模予想



コムチュアグループは

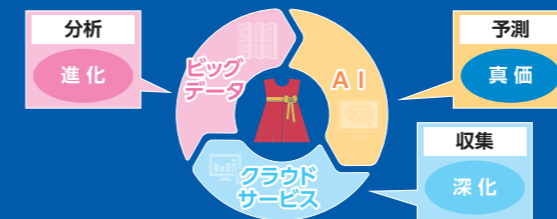
ビッグデータ・AI関連事業への取組みを加速していきます



アパレル業界向け ビッグデータ販売予測領域に本格参入

ジェイモードエンタープライズ(株)をM&A (2016年4月5日)

ジェイモードエンタープライズは、クラウドによるアパレル業界向けの販売・在庫管理システムを80社2,200店舗へ提供しています。このクラウドでのシステム提供の実績により、時系列に発生する大量データ(ビッグデータ)を活用することが可能です。このデータを、気象情報などと連携することにより、販売予測をより高度に行うサービスも提供してまいります。さらに、AIの活用により、企業経営者などの意思決定を助ける「マーケット分析AI」、また、個人がファッションについて相談する「ファッションAI」などのサービスを立ち上げてまいります。



ビッグデータ・AIの専門家として 新しい価値を創造

コムチュアデータサイエンス(株)を設立 (2016年4月21日)

コムチュアデータサイエンスは、ビッグデータ及びAIの専門家として、世の中に存在するあらゆるビッグデータを活用して、お客様のビジネス革新及び意思決定のスピードアップにつなげるべく、役割を担ってまいります。今後コムチュアは、産学協同や他社連携など、グループ体となり、ビッグデータ及び人工知能(AI)、さらにはIoT領域との連動を含めた事業の推進を図ってまいります。

- 事業内容
- ① ビッグデータ・人工知能(AI)に関するコンサルティング及び提案
 - ② ビッグデータ・人工知能(AI)に関する分析・開発
 - ③ 経営者情報システム (EIS: Executive Information System) の提供
 - ④ 産学協同による研究開発
 - ⑤ データサイエンティスト教育
 - ⑥ 個人向けファッションAIサイトの企画

連携

東京証券取引所 企業価値向上表彰 TOP49に選抜

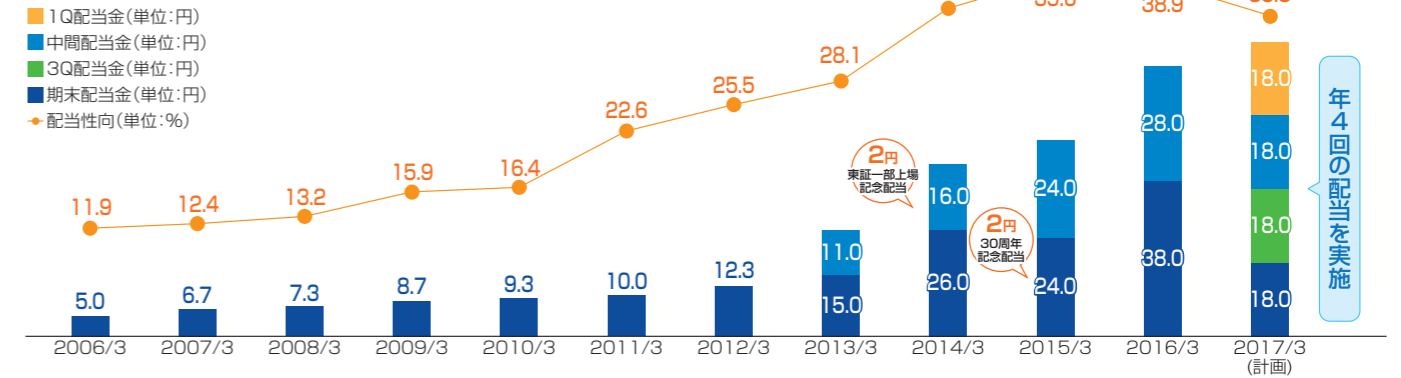
2015年8月、東証上場企業(約3,500社)のうち、企業価値の向上を目指す経営を実践している会社TOP49に選抜されました。

企業価値向上表彰は、高い企業価値の向上を実現している上場会社のうち、投資者の視点を強く意識した経営を実践している上場会社を表彰する制度です。数値データのみならず、企業価値向上を実現させるための経営の実践状況も審査され、選定されます。



新たな株主還元

12期連続増配計画



株主優待制度を新設

2017年3月期の優待込みでの総配当性向は45%を超えます。(100株保有の場合)

1,000円分のQUOカードを年2回贈呈いたします。

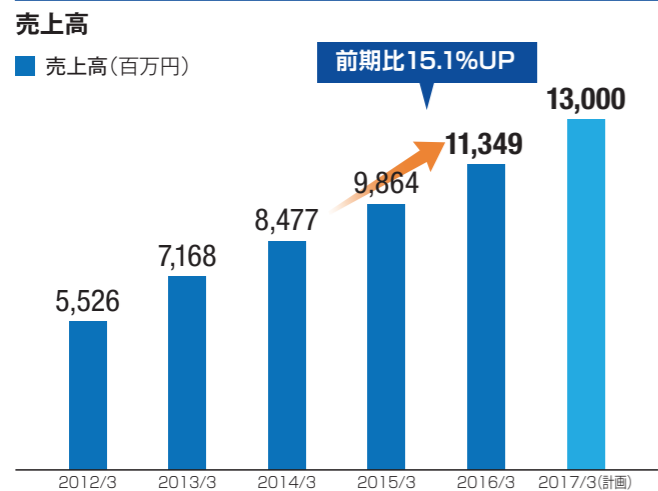


保有株式数	100株(1単元)以上
優待品の内容	QUOカード(クオカード)1,000円分
発行基準日	3月31日 9月30日
贈呈の時期	6月下旬 12月上旬

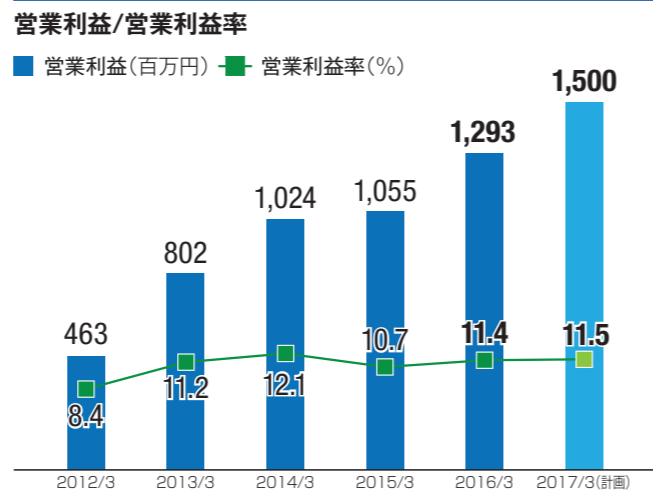
四半期配当制度を導入

安定経営により四半期業績も安定しているため、18円の配当を年4回(2017年3月期計画)実施いたします。

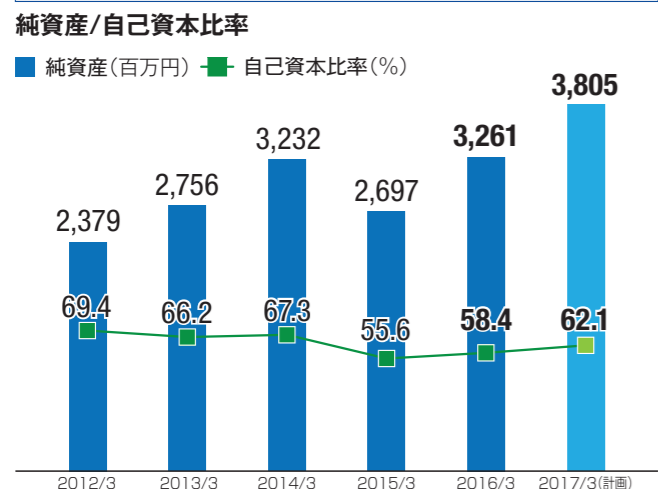
高付加価値化により成長継続



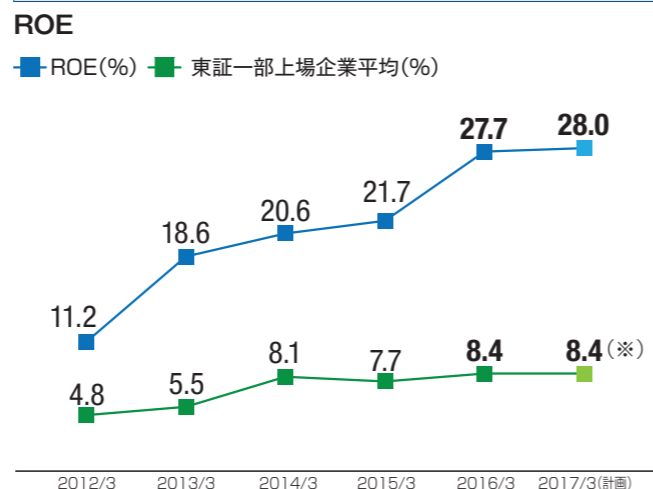
営業利益率10%以上の高収益企業



有利子負債ゼロの健全な財務体質



ROEは20%を超える高収益体質



主要連結財務データ

科目	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3 (計画)
経営成績(百万円)						
売上高	5,526	7,168	8,477	9,864	11,349	13,000
営業利益	463	802	1,024	1,055	1,293	1,500
経常利益	489	811	1,043	1,059	1,295	1,500
親会社株主に帰属する当期純利益	254	475	615	641	823	990
財政状況(百万円)						
総資産	3,420	4,147	4,800	4,844	5,582	6,126
純資産	2,379	2,756	3,232	2,697	3,261	3,805
キャッシュ・フロー(百万円)						
営業活動によるキャッシュ・フロー	276	756	656	727	780	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△367	67	△1	34	△103	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△52	△123	△143	△1,243	△252	-
現金及び現金同等物の期末残高	1,141	1,843	2,354	1,873	2,297	-
1株当たりデータ(円)						
当期純利益	48.40	90.63	116.26	121.07	169.84	203.98
純資産	452.10	523.19	605.73	556.29	671.52	784.00
配当金	12.3	26.0	42.0	48.0	66.0	72.0
主要経営指標(%)						
総資産利益率(ROA)	7.9	12.6	13.8	13.3	15.8	16.9
株主資本利益率(ROE)	11.2	18.6	20.6	21.7	27.7	28.0
自己資本比率	69.4	66.2	67.3	55.6	58.4	62.1
配当性向	25.5	28.1	36.1	39.6	38.9	35.3

※出所 みずほ証券リサーチ&コンサルティング

第33期もIR活動を積極的に実施中!

第33期 今後のIRカレンダー

2016年	
6月25日	個人投資家向けIR説明会 (札幌 ラジオNIKKEI)
7月下旬	第1四半期決算発表
9月24日	個人投資家向けIR説明会 (福岡 ラジオNIKKEI)
10月下旬	第2四半期決算発表
11月中旬	ラジオNIKKEI ザ・マネー出演
11月26日	個人投資家向けIR説明会 (大阪 大和IR)
12月11日	個人投資家向けIR説明会 (東京 大和IR)
2017年	
1月下旬	第3四半期決算発表

*予定が変更となる場合は当社ホームページでお知らせいたします。



個人投資家向け説明会の様子



個人投資家向け説明会の様子



ラジオ出演の様子

個人投資家向けのみならず、
機関投資家向けにも
積極的にIR活動に
取り組んでおります。



YouTubeで
決算説明動画を
公開中!

YouTube コムチュア 検索

会社データ

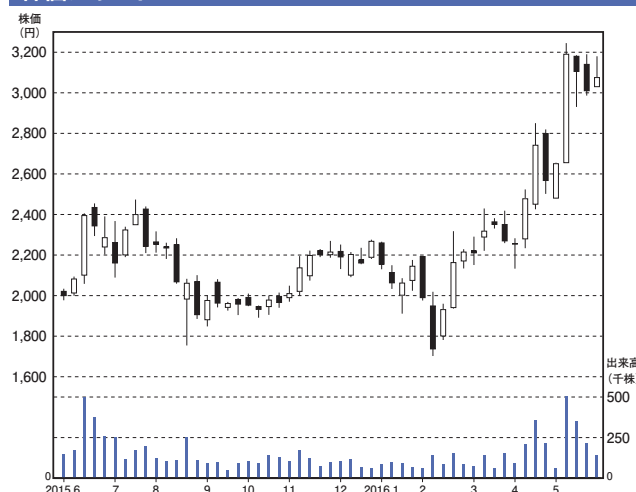
会社概要 (2016年4月1日現在)

商号	コムチュア株式会社 英文会社名:COMTURE CORPORATION
本社所在地	東京都品川区大崎一丁目11番2号
WEBサイト	http://www.comture.com/
設立年月日	1985年1月
資本金	10億1,853万円
従業員数	928名
営業所	大阪営業所

取締役および監査役 (2016年6月16日現在)

代表取締役会長CEO	向 浩一
代表取締役社長COO	大野 健
常務取締役	澤田 千尋
取締役	太田 好彦
取締役	二村 修
社外取締役	佐々木 仁
常勤監査役	田村 誠二
常勤監査役	中元 秀明
監査役	和中 新一

株価チャート



株式データ (2016年3月31日現在)

大株主の状況

株主名	所有株式数 (株)	所有比率 (%)
有限会社コム	1,090,000	20.36
コムチュア社員持株会	278,600	5.20
BNPパリバ証券	220,000	4.10
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	181,100	3.38
株式会社三菱東京UFJ銀行	150,000	2.80
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	149,400	2.79
向 浩一	128,000	2.39
大野 健	93,000	1.73
ゴールドマンサックス証券	86,100	1.60
資産管理サービス信託銀行株式会社 (年金信託口)	50,200	0.93

(注) 1. 当社は自己株式500,081株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
2. 所有比率は自己株式を含んで計算しております。

株式の状況

発行可能株式総数	17,400,000株
発行済株式総数	5,353,500株
株主数	3,708名

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
配当金受領株主確定日	第1四半期配当金: 6月30日 中間配当金: 9月30日 第3四半期配当金: 12月31日 期末配当金: 3月31日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (連絡先・照会先)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL (0120) 232-711 (通話無料)
公告方法	電子公告により、当社WEBサイトに公告いたします。但し、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に公告します。

ご注意

- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。